下沼駅が開業100周年を迎えました

9月21日、下沼駅の開業100周年を祝う「百寿祭」を下沼駅で開催し、町内外から集まった多くの有志とともに、駅舎の化粧直しを行いました。

下沼駅は1926年（大正15年）9月25日に開業し、1984年（昭和59年）に無人駅となりました。その後、1985年（昭和60年）に現在の駅舎へと建て替えられ、地域に親しまれながら今日までその歴史を刻んできました。

装いを新たにした下沼駅が、これからも地域のシンボルとして、多くの人々に親しまれ続けることが期待されます。



「幌延町かわまちづくり計画」の登録証伝達式が行われました

町が策定した「幌延町かわまちづくり計画」が、8月7日に国土交通省の「かわまちづくり支援制度」に登録されたことに伴って、9月30日、幌延町役場2階大会議室で、「幌延町かわまちづくり計画」の登録証伝達式が行われました。

この計画では、天塩川旧川（幌延旧川）の親水広場を利用拠点と位置付け、旧川周辺の水辺空間を整備するとともに、カヌーなどのさまざまなアクティビティを楽しめる環境づくりや、幌延市街地・周辺観光施設との周遊性・利便性の向上を図ることとしています。

